

トレーニングで
日々体を鍛えまくっている
男子大学生たちの
ヤリチン乱交生活の
一コマ

トレーニングで日々体を鍛えまくっている男子大学生たちの ヤリチン乱交生活の一コマ

ダンベルを上げ、深く息を吐く。

「プハアアアーーーーッ」

今日もしっかりと 2 時間体を鍛え上げたのは、大学トレーニングサークルのヨシヒロだ。

“トレーニングサークル”

一聞不思議な名称のサークルだが、意味としてはそのまま、体を鍛えるということそのものが目的のサークルだ。

このサークルの活動だが、トレーニングと言ってもボディビルダーのようにムキムキの肉体美にするのとは少し違う。

あくまで若者らしい“健康的な肉体”にすることが目的だ。

「でもさあ、アカネのおっぱいってやっぱり吸い心地良いだろ？」

「ユリナよりは良いかもなあ。あいつはなんだかんだちょっと小さいしさ。でも最近でかくなってるのはやっぱミュハだよなあ」

「ああ、らしいな。あいつ大学に入ってまだ成長してるって言ってたよ」

トレーニング後、汗をボディタオルで一通りぬぐってから更衣室へ戻り、部員仲間のトシヤと会話するヨシヒロ。

会話の内容は“女”。

とにかく“女”の話題だ。

女に苦勞することが皆無でとにかくやりまくっているヤリチンライフの彼らにとって、口をついて出る言葉と言えは女の話なのだ。

「へー、そうなんだな。でも人のこと言えないけどな。だって俺も大学に入ってトレーニングして、それで女とやりまくってさ、もうチンポなんて 10 センチはでかくなったもん」

「へえ、まあ俺も 7、8 センチはでかくなったけどな」

二人は着替え終わる。

まだ廊下を挟んだトレーニングルームでは、数人のメンバーたちが鍛え続けている。

「とにかく、早いところ行こうぜっ！」

二人が部活後にほぼ欠かさず毎日行くのは、二人が住むマンションの近くにあるバーだ。

1 階がバー、2 階がダーツの部屋となっており、更に地下には何も置かれていない広間がある。

そして実はこの広間、トレーニング部のメンバーたちが使用する

“セックスをするためのスペース”

である。

そもそも、部活に入っていない若い大学生のそれも男がただ健康になるためだけにトレーニングをするはずがない。

つまりは、健康になって美しい体を作り、“最高のセックスに励む”。

そのために、言ってみれば“そのためだけに” トレーニングをするのだ。

トレーニングをすることで肉体は美しくなり強化され、性欲は増進する。極めつけに、その肉体目当てに女が寄って来ると来たものだ。

苦しいトレーニングを日々繰り返すトレーニング部の目的はそこにあるのだった。

体験版はここまでです。

もし気に入っていただけたら、

続きを製品版でお楽しみいただけると幸いです。